

## 本邦における胸腺上皮性腫瘍に対する外科治療成績の解析

### 研究の意義:

胸腺腫を中心とした胸腺上皮性腫瘍に対しては外科治療を中心とした集学的治療が行われているが、比較的まれな縦隔腫瘍であるために標準的治療は確立されていません。多施設の治療例を集積することにより、胸腺上皮性腫瘍の臨床病理学的特徴を明らかにし、標準的治療法を検討します。

### 研究の目的:

本臨床研究の目的は、疫学的調査により本邦のこれまでの治療成績を明らかにし、国際的データベース事業に参画し、国際標準の病期分類を確立することにある。

### 研究の方法:

1991年から2010年までの20年間に本邦の呼吸器外科専門施設で手術された胸腺上皮性腫瘍を集計登録し、生存分析を中心とした統計解析を行う。なお、本研究は、日本胸腺研究会が中心とり、全国多施設で登録が行われています。

### 研究の対象に該当する患者さんへ:

プライバシーの確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で解析を行います。また、研究結果を公表する際には、症例のグループごとでの解析結果の発表となり、患者さん個人が特定されることはありません。それでも、ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、下記にご連絡ください。ただし、すでに発表済みなどで必ずしもご要望に添えない場合もあることをご了承ください。

この研究に対する  
お問い合わせ先

〒565-0871 吹田市山田丘2-2 (L5)  
大阪大学大学院 医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学  
新谷 康  
電話:06-6879-3152 Fax:06-6879-3164